

ごあいさつ



代表理事組合長
山内 清久

平素は、JAめぐみの各事業に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

わが国の経済を取り巻く環境は、資源・エネルギーや食料品等のほか、農業分野においても肥料原料や生産資材の価格が高騰する中、今年4月より施行されたトラックドライバーの時間外労働規制を背景とした働き方改革による2024年問題は、農畜産物の物流コストの上昇などを招き、今後の農家所得の確保や営農の継続及び産地形成の維持等への影響が懸念されるところです。また、食料・農業・農村基本法の改正法案が今国会で成立し、我が国の農政の方向性が改めて示されました。当組合においても、将来にわたる食料安全保障の強化や農業の持続的な発展に向き合い、その社会的役割を果たして参ります。

さて、このような情勢下において、令和5年度当組合が合併20周年を迎えた特別企画として、たくさんのご応募の中から選出された地域・農業応援大使4名による農産物等のPRを行いました。また、その他の活動として、ひるがの高原だいこんの産地維持発展のため農業法人の設立支援やほらどキウイの生産・消費拡大の取組など持続可能な農業の実現に向けた活動、明方ハム創業70周年を記念した販売促進キャンペーンの展開、郡上地域で小規模葬儀に対応可能なコンパクトホール「こもれび」の竣工、6年ぶりとなる女性部大会の開催や各地で資産形成・運用セミナーを行うなど地域活性化への取組を進めて参りました。

迎えた令和6年度は、第7次中期経営計画の最終年度として改めて基本方針である「対話を通じた農業・地域・JAの未来づくり」を認識し、3つの基本目標である「持続可能な農業の実現」、「食」・「農」・「暮らし」を通じた地域活性化への貢献、「自己改革を支える経営基盤の強化」の目標達成総仕上げの年と捉え、更なる業務改善や物流改革、役員の組合員訪問活動等に取り組み、役職員一同心をひとつにした事業運営に邁進して参ります。

おわりに、組合員・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年7月